

安全委員会だより

5月19日に傷害事故や賠償事故の多い草刈作業の従事者に対して、草刈機製造メーカーと飛び石やキックバックが起きにくいアタッチメント製造会社の職員によって、「草刈機安全就業講習会」として座学と草刈現場での実習を行いました。

平成30年度第1回安全委員会が6月6日に開催され、平成29年度の事故発生状況を検証するとともに、安全パトロールについて協議しました。賠償事故は減少しましたが、傷害事故については、重篤な事故はなかったものの事故発生件数は増加して



おり、会員の安全意識の高揚が求められます。

6月23日に危険度の高い剪定作業と草刈作業従事者に対して、兵シ協の社会保険労務士であり派遣アドバイザーである茶園幸子先生が講師となつて安全就業講習会を実施しました。錯覚や思い込みによる事故、ルールを守らないことによる事故等、その原因と対処方法について説明を受けました。

7月24日に2班に分かれて、草刈作業の安全パトロールを実施しました。今年度は異常気象で大雨の後は猛暑となり、気象庁は「今年の猛暑は災害レベル」と言っているくらい暑さの中で、どちらの現場も汗びっしょりになって懸命に作業をされていました。

熱中症対策としては、冷たい飲み物、日陰のない現場での日除けのためのビーチパラソル、

空冷服等いろいろと工夫されていました。



現場パトロール終了後、会議室にて意見交換を行いました。

草刈作業従事者は、安全保護具（ヘルメット、フェイスガード）をしっかりと着用され、安全就業基準に則して安全に作業をされています。ただ、一部に作業間隔が狭いものでは等の指摘がありました。

作業班全員で、作業前に十分な下見と打合せを行い、作業従事者が事故の原因を認識することによって、事故は大幅に減少できます。どうか事故のないよう注意して作業を実施してください。

安全の心得

安全の心得

- ① 作業は安全第一、急いだりあわてたりしない
- ② 器具類は、使用前に必ず点検
- ③ 服装・履物は、作業に合った動きやすいもの
- ④ 作業前には、軽い柔軟体操
- ⑤ 加齢による諸機能の低下を充分認識
- ⑥ 作業現場では、常に整理整頓
- ⑦ 共同作業では、合図・連絡を正確に
- ⑧ 帰宅するまで、交通事故に気を付ける
- ⑨ 健康には、常に注意
- ⑩ 十分な睡眠をとる

全シ協安全就業スローガン
**事故防止、急ぐな、あせるな、
 気を抜くな**

兵シ協安全就業スローガン
**危ないぞ 言える勇氣と
 聞く心**